

瀧尾神社 御献灯のお誘い

瀧尾神社では、御献灯のお誘いを令和六年四月一日より同年十一月三〇日の間でさせていただきます。灯台に限り（拝殿周りには限定数）がございますので、先約順にて受付をさせていただきます。

御献灯をお申込み希望されます方は左記の申込書に必要事項を記載して事務局のファックスへお申し込み下さい。

今回のお誘いは限定一〇〇名様とさせていただきます。

次回のお誘いは期次辰年（令和十八年二月一日募集）とさせていただきます。

献灯料は申し込みを頂きました後、一週間以内に事務局よりご希望の通知方法にて瀧尾神社事務局の口座番号をお知らせいたしますので、お申込みされた名義でお振込みをしてください。

献灯期間は満一年間として、毎年更新して頂くことができます。

献灯料

提灯の初回製作費・初年度管理費込 金壹萬八千円也 更新料 一年毎に金壹萬貳千円也
ご献灯いただきました灯主様には、江戸時代の彫刻家 九山新太郎作の木彫りの龍を拝殿に昇殿していただき特別拝観（通常十二年に一度のみ特別拝観しております）をしていただくことができます。

また、お宮参り・七五三・起工式・地鎮祭・上棟式・竣工式など各神事を御要望により催行させていただきます。ご献灯の感謝の気持ちこめて、灯主様の願い事が満願成就されますことを当宮、佐々貴宮司が瀧尾の大神様にご祈祷させていただきます。

辰年のこの機会に、益々の弥栄、また転機にとお考えになられます方へのお誘いです。

令和六年四月吉日

瀧尾神社 誠龍会 会長 奥田成親

副会長 加山一之

本部長兼関東支部長 杉浦龍之介

関西支部長 堀 香織

〒六〇五―〇九八一 京都市東山区本町十一丁目七一八番地

誠龍会事務局

電話 〇七五―五二五―五八〇〇

ファックス 〇七五―五二五―五七〇〇

瀧尾神社

瀧尾神社は大丸の創業者、下村家との縁があるとして有名な神社です。

現在、京都駅から一駅、東福寺駅から徒歩三分という好立地にあります。

商売繁盛は元より、仕事運の向上、家内安全のご利益を頂けるありがたい神社として崇敬されています。また、境内には大山祇命、三島神社、愛宕神社、大丸繁栄稲荷、金毘羅宮の祈願所もごございます。

京都市より昭和五十九年、境内の建築は京都市指定有形文化財に指定された由緒、歴史のある神社です。

境内には、日本一の龍の木製の彫刻があります。龍は昇龍として縁起がよい生き物とされ、今日も様々な絵画や置物に用いられています。

当宮の正門の朱鳥居をくぐっていただきますと、正面に拝殿がごございます。

その天井には見事な木彫りの龍が今にも動きそうな様相をしています。この木彫りの龍は江戸時代の彫刻家九山新太郎の作であり、全長八メートルの大きさは日本一となります。日本全国には約八万一千ヶ社の数の神社がごございます。その内、京都には約一千七百社があります。

その中でも、「仕事運向上」というところは全国でも瀧尾神社でだけごございます。

京都にお越しになれました際には、瀧尾の大神様の運氣向上のご利益を受けお帰り

下さい

